

# 2023年度 事業報告書

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク

一般社団法人交通環境整備ネットワークの15期目となった2023年度は、法人創立15周年という記念すべき年であるとともに、2023年4月に地域交通法が改正され、地域が、地域の鉄道やバスを社会インフラとして維持し、発展させることのできる仕組みづくりができたエポックメイキングな年となりました。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関しては、感染症法上の扱いが5類感染症に変更され、社会はようやく以前の日常生活を取り戻しつつあります。公共交通機関の輸送人員は、以前の状態まで回復するには至っていませんが、人々の流動は増えてきており、加えてインバウンド需要の伸びもあることから、徐々に回復するものと期待されます。

当法人は、地域交通法の改正を受けて、地域鉄道フォーラム「地域と鉄道」と、地域鉄道の高付加価値フォーラム in 五所川原「どっすー？地域鉄道」を開催すると共に、交通環境全般の調査研究、鉄道写真詩コンテストの開催、環境活動フェスへの出展等を行いました。

詳細については以下のとおりです。

## 1. 交通環境の調査研究

鉄道、バス等交通環境の現状に関する諸情報を収集するとともに、調査研究等を2023年11月発行の会報『地域交通を考える』第15号において公表しました。

本号は、「ローカル鉄道」を特集としました。

『地域交通を考える』第15号の内容

### 【巻頭言】

「日本の公共交通の将来は明るくない」 板谷和也（流通経済大学経済学部教授）

### 【特集「ローカル鉄道」】

「地域の将来と利用者の視点に立った公共交通のあり方～ローカル鉄道の再構築の運用等について～」

中田勝久（国土交通省鉄道局鉄道事業課地方鉄道再建構築推進室長）

「富山のトップハム・ハット卿は誰か？JR城端線・氷見線の「再構築」を通じて、富山県のローカル線を考える」 宮本南吉（富山新聞社報道局長・編集委員）

「JR四国と徳島バスとの共同経営」長戸正二（四国旅客鉄道株式会社専務取締役・鉄道事業本部長）

「統計データにみる新型コロナウイルスの地方民鉄への影響」平田一彦

「ローカル線の存廃を考える」入江 聡

「クルーズトレインの運行によるローカル線の活性化～山陰本線の活性化を模索する～」堀内重人

### 【論考】

「明知鉄道のコミュニティバス事業について」小倉沙耶

「高等学校教科書が扱う我が国の交通」塩島 翔

「青函連絡船を支えたタグボートひうら丸」横山光政

### 【海外の鉄道】

「スイスアルプスを巡る鉄道の旅」白根英路（株式会社デーシーティ・プランニング代表取締役社長）

「ミラノにおける統合運賃制度」原 潔

### 【連載：鉄道法律相談】

「交通系ICカード非利用者の訴訟から考える」小島好己

### 【講演録】

地域鉄道フォーラム2023「地域と鉄道」

### 【作品鑑賞】

鉄道写真詩コンテスト2023

## 2. 交通環境の整備及びその活動に対する支援協力

### (1) 主催活動

①地域鉄道フォーラム2023「地域と鉄道」（国土交通省鉄道局後援）の開催

期 日：2023年（令和5年）6月10日（土）13：00～15：15

場 所：東武博物館ホール

東京都墨田区東向島4-28-16 TEL 03-3614-8811 (代)  
東武伊勢崎線(東武スカイツリーライン) 東向島駅下車0分

参加人員: 62名

プログラム

1. 来賓あいさつ 国土交通省鉄道局鉄道事業課長 田口芳郎氏
2. 基調講演 「地域のまち、経済を持続可能にするための処方箋」  
富山大学都市デザイン学部教授 金山洋一氏
3. トークセッション 「鉄道の価値・可能性」  
コーディネーター/関西大学経済学部教授 宇都宮浄人氏  
富山大学都市デザイン学部教授 金山洋一氏  
流通経済大学経済学部教授 板谷和也氏  
ひたちなか海浜鉄道株式会社取締役社長 吉田千秋氏

## ②鉄道写真詩コンテスト2023(国土交通省鉄道局後援)の開催

1. 作品募集 2023年7月1日~9月30日
2. 応募総数 142作品
3. 審査委員

村田茂樹(国土交通省鉄道局長)  
大場喜幸(鉄道博物館館長)  
米屋こうじ(鉄道写真家)  
水無田気流(詩人・社会学者)  
原 潔(一般社団法人交通環境整備ネットワーク代表理事)

### 4. 審査結果

表彰	お名前	題名	住所	年齢
国土交通省鉄道局長賞	船越知弘	なんでもま〜るく	茨城県	56
鉄博賞	松田昌美	栈敷席にて	長野県	60
米屋こうじ賞	辻森章浩	ふみきりまち	静岡県	35
水無田気流賞	柴田穂乃佳	たび	高知県	22
エコトラン賞	須永真弘	心の色	埼玉県	25
エコトラン賞	丸山かおる	ワンダーチャイルド	埼玉県	54
エコトラン賞	塩川里美	君を待つ	静岡県	51
エコトラン賞	猿田 茂	朝日	大阪府	72
エコトラン賞	鈴木悠史	旅先レトロチック	東京都	18
エコトラン賞	吉田優美	追憶 またきんしゃいね	福岡県	63
エコトラン賞	土屋恵理	春の彩り	三重県	48
エコトラン賞	赤沼奏空	Stand By Me	愛知県	17

### 5. 作品展の開催

表彰作品については以下のとおり作品展等を開催しました。

- 鉄道博物館(さいたま市) 2023年11月1日(水)~11月27日(月)
- 日本現代詩歌文学館(岩手県北上市) 2023年11月4日(土)~11月30日(木)
- 東武博物館(東京都墨田区) 2023年11月2日(木)~2023年11月30日(木)
- リニア・鉄道館(名古屋市) 2023年12月6日(水)~12月27日(水)(今年度、新規開催)

### 6. 作品集ほか

入賞作品集を作成(A4二つ折り)し、展示会等で配布。  
入賞作品を使用した2024年度カレンダーを作成。Webで公開。

## ③環境活動フェス2023への出展

期 日：2023 年（令和 5 年）11 月 3 日（金・祝）～5 日（日） 9：00～21：00

場 所：中央区立環境情報センター（中央区京橋 3-1-1 東京スクエアガーデン 6 階）

会場内のブースでは、「鉄道はエコ、鉄道でエコ、エコトラン」の標語とともに、環境に対する鉄道の優位性をパネルとデジタルサイネージにより発信しました。

11 月 4 日（土）は、14：00～16：00 の「銀座線のペーパークラフトとブックカバーをつくろう」に協力をいたしました。

#### ④地域鉄道の高付加価値フォーラム in 五所川原「どっすー？地域鉄道」の開催

期 日：2023 年（令和 5 年）12 月 16 日（土）13：30～15：45（13 時開場）

会 場：五所川原市民学習情報センター 五所川原市字一ツ谷 503 番地 5

参加者数：93 名

プログラム

開会のあいさつ 一般社団法人交通環境整備ネットワーク 代表理事 原 潔

基調講演「地域交通法改正のポイント、地域の鉄道はどうあるべきか」

国土交通省大臣官房参事官 田口芳郎氏

トークセッション「地域鉄道の付加価値を高めるには」

コーディネーター／東京女子大学現代教養学部教授 矢ヶ崎紀子氏

パネラー／ 国土交通省大臣官房参事官 田口芳郎氏

温泉ビューティ研究者・旅行作家 石井宏子氏

津軽鉄道株式会社顧問 澁谷房子氏

閉会のあいさつ 津軽鉄道株式会社代表取締役社長 澤田長二郎氏

#### (2) 後援・協力等の活動

2023 年 6 月 24 日（土）、25 日（日）鉄道ミュージアム in 環境情報センターにおいて、パネル及び鉄道写真詩コンテスト 2022 入賞作品の展示を行いました。

また、2023 年 12 月 2 日（土）法曹レールファンクラブ総会で、「持続可能な地域社会と鉄道」についての講演を行いました。（原理事）

### 3. 安全対策・支援事業

2023 年 9 月 1 日（金）に、鉄道と地域の連携を促進するため、津軽鉄道主催の青森県・五所川原市・中泊町との打ち合わせ会議に出席し、意見交換を行いました。（原理事、大熊理事参加）

### 4. 交通環境にかかる提言、出版並びに情報発信

#### (1) インターネットによる情報発信

##### ①ホームページ

インターネットサイト <https://ecotran.or.jp/> で情報を発信しました。

##### ②メールによる鉄道関係情報等の配信

鉄道等の地域交通関係諸情報を収集するとともに「ECOTRAN からのお知らせ」をメールで配信を行いました。

本内容は、過去分も含めてホームページ (<https://ecotran.or.jp/act/info/info.html>) でも掲載しています。

#### (2) 会報『地域交通を考える』の発行

交通環境の調査研究論文及び諸情報をまとめた会報「地域鉄道を考える」第 15 号を 2023 年 11 月に発行しました。一般頒布は、ネットからの受付と共に東京神田神保町「書泉グランデ」での委託販売を行いました。

本誌は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の J-DreamIII、J-GLOBAL 等の科学技術文献データベースに収録され、「日本の論文をさがす」CiNii Articles (<https://ci.nii.ac.jp>) において「交通環境整備ネットワーク」、あるいは「地域交通を考える」で著者等の検索が可能です。

#### (3) 『地域の発展と鉄道』の発行

これまで、鉄道の価値や地域と鉄道の関係について、地域鉄道フォーラム等を通じて有識者による議論を重ねてきました。この議論の集大成として、2023年11月に『地域の発展と鉄道』を刊行しました。

(4) パンフレット「鉄道は地域の架け橋です」をリニューアルしました。鉄道がエコであること、鉄道の価値を考えること、鉄道が地域活性化の鍵となることを中心に、広く伝えていくこととしています。

(5) 中央区立環境情報センターからの情報発信

中央区環境情報センター主催の環境活動フェス2023に出展し、当法人の情報発信を行いました。

## 5. 法人のうごき

(1) 定時社員総会

日時 2023年(令和5年)6月10日(土) 11時00分~11時35分

場所 東武博物館ホール

出席社員数(委任状・事前議決権行使済みの者を含む) 85名(総社員数132名)

報告・承認事項

1. 2022年度事業報告の件
2. 2022年度決算報告の件
3. 2023年度事業計画の件
4. 2023年度収支予算書の件

2022年度事業報告の件及び2022年度決算報告の件については原潔理事から内容を説明後、監事を代表して入江聡監事からの正しく事実と認める旨の監査報告が示された。

続いて2023年度事業計画の件、2023年度収支予算書の件について山口禎一理事から説明を行い、以上の件を一括して諮ったところ満場一致で承認がなされた。

決議事項

第1号議案 理事選任の件

現在の理事が本総会終結の時をもって任期満了となることから原潔、向後功作、吉田千秋、田中人、藤本昌弘、山口禎一、澁谷房子、上岡佳子(関西佳子)の8名の再選任と新に大熊昭、湯田豊人の2名の選任案を諮ったところ満場一致で決定がなされた。

第2号議案 監事選任の件

監事は任期4年で、小島好己監事と入江聡監事の2名体制の中、入江聡監事が任期満了となり、再選任案を諮ったところ満場一致で選任がなされた。

(2) 理事会

①2023年6月10日(土) 東武博物館

代表理事及び業務執行の専務理事並びに常務理事の選定につき審議した結果、全員一致をもって次のとおり選任された。代表理事 原 潔、業務執行理事(専務理事) 吉田千秋、業務執行理事(常務理事) 山口禎一、業務執行理事(常務理事) 田中 人

②2023年11月11日(土) オンライン

鉄道写真詩コンテスト2022開催結果、会報『地域交通を考える』の発行、『地域の発展と鉄道』の発行、地域鉄道の高付加価値フォーラムの開催について、その他

③2024年3月29日(金) オンライン

定時総会議案書について、地域鉄道フォーラム2024、鉄道写真詩コンテスト2024の開催について、その他

(3) 会員数

2024年3月31日現在 個人会員 129名 法人会員 6名

## 会費の納入のお願い

2024年度（2024年4月～2025年3月）の年会費を、次の口座まで納入をお願いいたします。

### ○郵便振替

口座番号 00170-6-546398

口座名称(漢字) 一般社団法人交通環境整備ネットワーク

### ○銀行等からお振込みされる場合

ゆうちょ銀行(019)当座 0546398

一般社団法人交通環境整備ネットワークは、皆様の会費で運営されております。

## ○個人会員

### 特典

- ・地域鉄道フォーラム等主催イベント開催への優先ご案内
- ・メールにより鉄道、バス等地域交通関係の諸情報の随時配信
- ・会報「地域交通を考える」への論文掲載、同会報の配布、発刊書籍の頒布 等

### 会費

年会費 3,000円 (4月～翌年3月まで有効、途中入会も同額)

入会金 2,000円 (入会初年度のみ)

法人会員の強化を図ってまいります。

会員の皆様におかれましては、関係する法人への勧誘をお願いします。

## ○法人会員

### 特典

当法人は鉄道行政経験者、鉄道事業経営者、法曹界、学識経験者等幅広い分野のスタッフを有しております。このスタッフを中心として、法人会員に対しては様々な課題に対して相談とアドバイスを行っております。

- ・鉄道事業に係る法律相談受付 ⇒ 弁護士・専門家が相談にお応えします
- ・鉄道事業に係る安全制度・安全対策アドバイス⇒地域鉄道技術安全懇話会の組織により各種相談にお応えします
- ・鉄道事業に係る営業制度・営業戦略アドバイス⇒地域鉄道支援事業本部及び地域鉄道支援事業アドバイザーチームが対応いたします
- ・鉄道事業に係る諸情報の収集及び提供 等

相談やアドバイスはすべて無料で、何回でもお気軽にご相談ください。ただし、現地に赴いて具体的な対策を講じる等により交通費等の費用が発生する場合には別途相談の上、実費のご負担をお願いさせていただくことがあります。

- ・地域鉄道フォーラム等主催イベント開催への優先ご案内
- ・メールにより鉄道、バス等地域交通関係の諸情報の随時配信
- ・ホームページトップ画面での法人名・リンク表示
- ・会報「地域交通を考える」への論文掲載、同会報の配布、発刊書籍の頒布 等

### 会費

年会費 48,000円 (4月～翌年3月まで、途中入会の場合は月額4,000円で残月数分)

入会金 2,000円 (入会初年度のみ)

# 2023年度 決算報告書

第15期：2023年4月1日～ 2024年3月31日

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク

収 支 計 算 書  
第15期：2023年4月1日～ 2024年3月31日

単位：円

科 目	予算額 a	決 算 額				差異 a-b	備 考
		一般会計	収益事業	内部取引 消去	合計b		
1. 事業活動収支							
(1) 事業活動収入							
①受取入会金	10,000	6,000			6,000	4,000	
②受取年会費	600,000	644,000			644,000	△ 44,000	
③事業収益	100,000				0	100,000	
④受取寄付金	120,000	140,000			140,000	△ 20,000	(注1)
⑤雑収入等	5,000	127,586			127,586	△ 122,586	(注2)
⑥他会計からの繰入額	0	0	70,000		70,000	△ 70,000	
事業活動収入計	835,000	917,586	70,000	0	987,586	△ 152,586	
(2) 事業活動支出					0		
①事業費支出	510,000	593,546	1,100	0	594,646	△ 84,646	
②管理費支出	315,000	302,630	70,000	0	372,630	△ 57,630	
③他会計への繰出額	0	70,000	0		70,000	△ 70,000	
事業活動支出計	825,000	966,176	71,100	0	1,037,276	△ 212,276	
事業活動収支差額	10,000	△ 48,590	△ 1,100	0	△ 49,690	59,690	
2. 投資活動収支							
(1) 投資活動収入	0	0	0	0	0	0	
(2) 投資活動支出	0	0	0	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	0	0	0	
3. 財務活動収支							
(1) 財務活動収入	0	0	0	0	0	0	
(2) 財務活動支出	0	0	0	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	0	0	0	
4. 予備費支出	10,000	0	0	0	0	10,000	
当期収支差額	0	△ 48,590	△ 1,100		△ 49,690	49,690	
前期繰越収支差額	690,906	648,057	42,849		690,906	0	
次期繰越収支差額	690,906	599,467	41,749		641,216	49,690	

消費税等の会計処理は、税込方式による。

(注1)受取寄付金  
 関東交通印刷(株)様 100,000 円  
 交通新聞社・旅の手帖様 20,000 円  
 鉄道博物館様 20,000 円

(注2)雑収入等  
 書籍売上 77,583 円  
 講演謝金 50,000 円  
 受取利子 3 円



事業活動支出の内訳

単位:円

科 目	予算額 a	決 算 額				差異 a-b	備 考
		一般会計	収益事業	内部取引 消去	合計b		
1. 事業費							
(1)地域鉄道フォーラム等の開催	80,000	95,840			95,840	△ 15,840	
(2)鉄道写真詩コンテストの開催	300,000	295,006			295,006	4,994	
(3)会報等の作成	100,000	202,700			202,700	△ 102,700	(注1)
(4)地域鉄道支援	30,000		1,100		1,100	28,900	
事業費計	510,000	593,546	1,100		594,646	△ 84,646	
2. 管理費							
(1)旅費交通費	5,000	0			0	5,000	
(2)通信費	99,000	101,391			101,391	△ 2,391	郵便、HP等
(3)諸会費	10,000	0			0	10,000	
(4)会議費	10,000	0			0	10,000	
(5)印刷製本費	5,000	18,110			18,110	△ 13,110	
(6)賃借料	70,000	67,320			67,320	2,680	事務所
(7)事務用消耗品費	30,000	65,904			65,904	△ 35,904	
(8)新聞図書費	1,000	0			0	1,000	
(9)委託費	0	0			0	0	
(10)租税公課	80,000	10,000	70,000		80,000	0	法人税等
(11)雑費	5,000	39,905			39,905	△ 34,905	(注2)
管理費計	315,000	302,630	70,000		372,630	△ 57,630	
3. 他会計への繰出額	0	70,000			70,000	△ 70,000	
事業活動費計	825,000	966,176	71,100		1,037,276	△ 212,276	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲 資金の範囲は、現金預金額の範囲内  
2. 次期繰越収支差額に含まれる資産および負債の内訳

(注1) 会報等の作成  
『地域交通を考える』 141,640 円  
『地域の発展と鉄道』 60,510 円

単位:円

科 目	前期末残高	当期末残高
現金・預金	800,906	730,216
未収入金	0	0
前払費用	0	0
立替金	0	0
資産 a	800,906	730,216
短期借入金	0	0
未払費用	0	0
未払金	70,000	70,000
預り金	0	0
前受金	40,000	19,000
負債 b	110,000	89,000
繰越収支差額 a-b	690,906	641,216

(注2) 雑費  
書籍売上寄付 31,000 円  
その他 8,905 円

貸借対照表

2024年3月31日 現在

単位:円

科目	当年度				前年度 b	増減 a-b	備考
	一般会計	収益事業	内部取引 消去	合計 a			
1. 資産の部							
(1) 流動資産							
現金預金	618,467	111,749		730,216	800,906	△ 70,690	
未収入金				0	0	0	
前払費用				0	0	0	
立替金				0	0	0	
流動資産合計	618,467	111,749		730,216	800,906	△ 70,690	
(2) 固定資産							
什器備品	0	0		0	0	0	
固定資産合計	0	0		0	0	0	
資産合計	618,467	111,749		730,216	800,906	△ 70,690	
2. 負債の部							
(1) 流動負債							
短期借入金	0	0		0	0	0	
未払費用				0	0	0	
未払金		70,000		70,000	70,000	0	法人税等
預り金				0	0	0	
前受金	19,000	0		19,000	40,000	△ 21,000	会費前受け
負債合計	19,000	70,000		89,000	110,000	△ 21,000	
3. 正味財産の部							
基金	700,000	0		700,000	700,000	0	
一般正味財産	△ 100,533	41,749		△ 58,784	△ 9,094	△ 49,690	
正味財産合計	599,467	41,749		641,216	690,906	△ 49,690	
負債及び正味財産合計	618,467	111,749		730,216	800,906	△ 70,690	

正味財産増減計算書

第15期: 2023年4月1日～ 2024年3月31日

単位:円

科目	当年度				前年度 b	増減 a-b	備考
	一般会計	収益事業	内部取引 消去	合計 a			
I 基金増減の部							
基金期首残高	700,000			700,000	700,000	0	
基金期末残高	700,000			700,000	700,000	0	
II 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
受取入会金	6,000	0		6,000	12,000	△ 6,000	
受取年会費	644,000	0		644,000	611,000	33,000	
事業収益	0	0		0	12,990	△ 12,990	
受取寄付金	140,000	0		140,000	140,000	0	
雑収入等	127,586	0		127,586	19,826	107,760	
他会計からの繰入額	0	70,000		70,000	133,099	△ 63,099	
経常収益合計	917,586	70,000		987,586	928,915	58,671	
(2) 経常費用							
事業費	593,546	1,100		594,646	527,986	66,660	
管理費	302,630	70,000		372,630	283,738	88,892	
他会計への繰出額	70,000	0		70,000	133,099	△ 63,099	
経常費用計	966,176	71,100		1,037,276	944,823	92,453	
当期経常増減額	△ 48,590	△ 1,100		△ 49,690	△ 15,908	△ 33,782	
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
(2) 経常外費用	0	0		0	0	0	
当期経常外増減額	0	0		0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 48,590	△ 1,100		△ 49,690	23,046	△ 72,736	
一般正味財産期首残高	△ 51,943	42,849		△ 9,094	△ 16,232	7,138	
一般正味財産期末残高	△ 100,533	41,749		△ 58,784	6,814	△ 65,598	
正味財産合計	599,467	41,749		641,216	706,814	△ 65,598	

財務諸表に対する注記

重要な会計指針

- 「公益法人会計基準」(平成20年4月11日・改正平成21年10月16日付け内閣府公益認定等委員会)に準拠しています。
- 消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2024 年 4 月 13 日

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク  
代表理事 原 潔 様

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク

小 島 好 己 ⑩

入 江 聡 ⑩

第15期：2023年4月1日～ 2024年3月31日

監 査 報 告 書

私は、2023年4月1日から2024年3月31日までの第15期会計年度における会計及び業務の監査を行い、その結果を次のとおり報告する。

1. 監査方法の概要

- (1) 会計監査は、帳簿並びに関係書類の整合閲覧により、決算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査は、理事会及びその他の会議に出席し、必要と思われる事項について理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等により業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 財務諸表及び収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、収支状況及び財務状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 事業報告書の内容は、事実と認める。

以上

# 2024年度 事業計画

## 一般社団法人交通環境整備ネットワーク

改正地域交通法のもとで、地域の新たな取組が始まっています。当法人はその取組を支援していくと共に、鉄道を軸とした公共交通の再構築についての情報を広く発信して参ります。

交通環境の調査研究を継続するとともに、以下の諸活動を展開します。

### 1. 交通環境の調査研究

地域鉄道、都市鉄道、幹線鉄道、バス等の交通環境に関する諸情報を収集し、その歴史的背景や運営方策、需要動向等、交通環境全般にわたる調査研究を行います。

調査研究の成果については会報『地域交通を考える』等を通じて広く公表を行います。

### 2. 交通環境の整備

環境負荷が小さく、より良い交通環境の整備を進めていくためには、今ある地域交通の状況を広く多くの方に知っていただく必要があります。

そのため、地域鉄道フォーラムの開催を計画するとともに、鉄道の魅力とその旅の楽しさを発信するために、鉄道写真詩コンテストを開催します。

#### (1) 地域鉄道フォーラム 2024「交流人口の拡大と地域の鉄道」の開催

期 日：2024年6月8日（土）13：00～15：10

開催場所：東武博物館ホール

人口減少・高齢化の時代が到来し、地域の経済活動は縮小、後継者不足により街には空き店舗が、郊外では耕作放棄地が増加し、このままでは地域の絆や地域コミュニティは崩壊し、安全・安心な我が街としての存続そのものが危うくなります。

たとえ定住人口が減るとしても、その減少分以上に地域間での交流人口を拡大させ、更にはその地域の関係人口を増やすことによって、地域の活性化と発展は可能であり、そのためには、社会インフラである地域鉄道を軸とした、人を引き付ける魅力を備えた地域・まちづくりに一刻も早く取り組む必要があります。

そこで、これまで地域の交通と観光振興に深く携わってきた有識者にお集まりいただき、交流人口の拡大のための地域の鉄道の役割について論じていただきます。

プログラム

1. 来賓あいさつ 国土交通省鉄道局鉄道事業課長 山崎雅生氏
2. 基調講演 1「観光立国欧州の鉄道から学ぶ」  
東洋大学国際観光学部教授 黒崎文雄氏
3. 基調講演 2「温泉と鉄道の深い関係」  
温泉ビューティ研究家・トラベルジャーナリスト 石井 宏子氏
4. トークセッション「地域間流動の促進と地域の鉄道」  
コーディネーター／國學院大學 観光まちづくり学部教授 楓 千里氏  
温泉ビューティ研究家・トラベルジャーナリスト 石井宏子氏  
東洋大学国際観光学部教授 黒崎文雄氏  
跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部准教授 篠原 靖氏

#### (2) 鉄道写真詩コンテスト 2024 の開催

鉄道写真詩とは、「鉄道写真」に「詩」を組み合わせることで鉄道の魅力やその旅情を表現する新たな芸術活動です。

本コンテストは、その登竜門としての役割を担うもので、2017年より毎年開催をし、本年度8回目となります。

コンテストの概要

- ①写真の撮影及び詩作は同一人であって、未発表のものに限ります。

- ②応募点数は一人3点までとします。
- ③写真は、鉄道を題材としたものであって単写真に限ります（組写真は不可）。銀塩写真、デジタル写真の別、カラー、モノクロの別は問いません。画像ファイルは、JPEG形式とし、ファイルサイズは5MB以内（大きい画像は5MB以内に圧縮）とします。
- ④詩は、自由詩、散文詩のいずれも可。一行詩から、20行未満の詩であって、20字×20行=400字以内とします。

#### 表彰 入賞

国土交通省鉄道局長賞（表彰状及び副賞 20,000 円ギフトカード）  
鉄博賞（表彰状及び副賞 20,000 円ギフトカード）  
米屋こうじ賞（表彰状及び副賞 20,000 円ギフトカード）  
水無田気流賞（表彰状及び副賞 20,000 円ギフトカード）  
エコトラン賞（若干数、表彰状及び副賞 10,000 円ギフトカード）

作品募集期間 自 2024年7月1日（月）  
至 2024年9月30日（月）  
受賞作品の発表 2024年10月31日（木）  
受賞作品の展示（予定） 東武博物館・鉄道博物館・日本現代詩歌文学館

このほかセミナー・トレイン等の開催を検討すると共に、国、地方公共団体、大学、鉄道会社等の交通環境整備に資する諸活動への参加、後援及び協力を行います。

### 3. 地域鉄道支援事業

地域鉄道に対して法律相談や安全対策等の支援を行います。

### 4. 交通環境にかかる提言、出版並びに情報発信

- (1) インターネットによる情報発信  
インターネットホームページ <https://ecotran.or.jp/> を使って鉄道の魅力をはじめ様々な情報発信を行うとともに、鉄道諸情報等を収集し、会員へのメールによる情報配信を行います。
- (2) 会報『地域交通を考える』の発行  
交通環境調査研究の成果及び地域鉄道等の諸情報をまとめた会報『地域交通を考える』通巻第16号を発行します。  
本年度より、原稿締切を11月30日と変更し、発行は、2025年2月を予定しています。  
本誌は、国立研究開発法人科学技術振興機構において科学技術情報誌に認定されており、掲載論考は国の文献データベースに登録されます。J-GLOBAL (<https://jglobal.jst.go.jp/>)、J-DreamIII (<https://jdream3.com/>)、CiNii Articles (<https://ci.nii.ac.jp/>) で検索ができます。
- (3) 『地域の発展と鉄道Ⅱ』の発行  
2023年11月に『地域の発展と鉄道』を刊行していますが、その続編として、地域の発展と鉄道の関係について、「考え方」、「理論」、「実践」を網羅して刊行します。
- (4) 中央区立環境情報センターからの情報発信  
中央区立環境情報センターを利用して、交通環境に関する情報を発信していきます。

2024年度 収支予算書

単位:円

項目	一般会計	収益事業	内部取引消去	当年度予算額合計	前年度予算額合計
1. 事業活動収支					
(1) 事業活動収入					
①受取入会金	10,000			10,000	10,000
②受取年会費	600,000			600,000	600,000
③事業収益		100,000		100,000	100,000
④受取寄付金(協賛金)	120,000			120,000	120,000
⑤雑収入等	5,000			5,000	5,000
⑥他会計からの繰入額	0	0		0	0
事業活動収入計	735,000	100,000		835,000	835,000
(2) 事業活動支出					0
①事業費支出	480,000	30,000		510,000	510,000
②管理費支出	245,000	70,000		315,000	315,000
③他会計への繰出額	0	0		0	0
事業活動支出計	725,000	100,000		825,000	825,000
事業活動収支差額	10,000	0		10,000	10,000
2. 投資活動収支					
(1) 投資活動収入	0	0		0	0
(2) 投資活動支出	0	0		0	0
投資活動収支差額	0	0		0	0
3. 財務活動収支					
(1) 財務活動収入	0	0		0	0
(2) 財務活動支出	0	0		0	0
財務活動収支差額	0	0		0	0
4. 予備費支出	10,000	0		10,000	10,000
当期収支差額	0	0		0	0
前期繰越収支差額	599,467	41,749		641,216	690,906
次期繰越収支差額	599,467	41,749		641,216	690,906

事業活動支出の内訳

単位:円

項目	一般会計	収益事業	内部取引消去	当年度予算額合計	前年度予算額合計
1. 事業費					
(1)地域鉄道フォーラム等の開催	80,000			80,000	80,000
(2)鉄道写真詩コンテストの開催	300,000			300,000	300,000
(3)会報の作成	100,000			100,000	100,000
(4)地域鉄道支援事業		30,000		30,000	30,000
事業費計	480,000	30,000		510,000	510,000
2. 管理費					
(1)旅費交通費	5,000			5,000	5,000
(2)通信費	99,000			99,000	99,000
(3)諸会費	10,000			10,000	10,000
(4)会議費	10,000			10,000	10,000
(5)印刷製本費	5,000			5,000	5,000
(6)賃借料	70,000			70,000	70,000
(7)事務用消耗品費	30,000			30,000	30,000
(8)新聞図書費	1,000			1,000	1,000
(9)委託費	0			0	0
(10)租税公課	10,000	70,000		80,000	80,000
(11)雑費	5,000			5,000	5,000
管理費計	245,000	70,000		315,000	315,000
3. 他会計への繰出額	0	0		0	0
事業活動費計	725,000	100,000		825,000	825,000